

秘

2148

海軍公報 第四八一號

昭和十九年九月二十八日(木)  
海軍大臣官房

○令 達

内令第一〇四號

第五十一號海防艦

右本籍ヲ佐世保領守府ト定メラル

佐世保領守府在籍

第五十一號海防艦

右警備海防艦ト定メラル

昭和十九年九月二十一日

海軍大臣

官房機密第一二四一號

呂號乙藥委員會規約左ノ通定ム

昭和十九年九月十六日

海軍大臣  
陸軍大臣  
軍需大臣

呂號乙藥委員會規約

第一條 呂號乙藥(特殊兵器用燃焼劑)ノ生産竝ニ之ヲ陸海軍間ニ於ケル配分及使用兵器等ニ關スル綜合計畫ヲ策定スル爲陸軍省、海軍省及軍需省間ニ呂號乙藥委員會(以下單ニ委員會ト稱ス)ヲ置ク

第二條 委員會ニ於ケル協議決定事項ハ陸海軍及軍需省ニ於テ速ニ之ヲ常務ニ移シ實行スルモノトス

第三條 委員會ハ陸海軍大臣及軍需大臣之ヲ主管シ陸軍省軍務局長、海軍省軍務局長及軍需省總動員局長ヲ委員長トス

委員長ノ下ニ委員幹事及委員輔佐ヲ置キ其ノ組織ヲ別表ノ通定ム

第四條 委員長ハ會務ヲ總理ス

第五條 委員ハ議案ヲ審議ス  
委員輔佐ハ委員ヲ輔佐ス  
議案ノ内容ニ依リ委員若ハ同輔佐ノ一部ヲ以テ審議シ又所要ニ應ジ分科會ヲ設クルコトヲ得

第六條 幹事ハ委員長ノ命ヲ承ケ委員會ニ關スル庶務事項ヲ掌理ス

附 則

委員會ノ運営ニ關シ必要アル場合ハ委員以外ノモノヲ臨時出席セシムルコトヲ得  
(別表添)

官房機密第一八八一號

昭和十九年官房機密第九四四號中左ノ通改正ス

昭和十九年九月二十二日

海軍公報 第四八一號、昭和十九年九月二十八日

一一九七

海軍大臣

本文中「物品及豫算」ヲ「物品、豫算其ノ他」ニ改ム

第二號ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ内地（朝鮮及臺灣ヲ含ミ千島列島、南方諸島及南西諸島ヲ含マズ以下同ジ）特設設營隊ノ物品整理ニ關シテハ海軍通

常物品會計規程及昭和十九年八月十日官房設機密第一六三〇號ニ依ルモノトス

第三號ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ内地特設設營隊ノ物品整理ニ關シテハ前號但書ニ同ジ

第四號中「前各號ニ依リ」ヲ「外地（千島列島、南方諸島及南西諸島ヲ含ム以下同ジ）」ニ改メ同號ニ左ノ一項ヲ加フ

内地特設設營隊ニ供給スル設營物品代價ハ補給擔任廳タル海軍施設部（以下當該施設部ト稱ス）ノ訓令豫算内支辨トシ當該施設部ニ於テ其ノ豫算整理ヲ爲スモノトス

第五號中「特設設營隊」ヲ「外地特設設營隊」ニ改ム

第六號中「特設設營隊」ヲ「外地特設設營隊」ニ改メ同號ニ左ノ二項ヲ加フ

内地特設設營隊現地ニ於テ設營用物品ヲ購買スル必要アルトキハ之ヲ爲シ海軍通常物品會計規程ノ手續ヲ爲スト共ニ速ニ當該施設部長ニ通報スルモノトス

前項ノ經費ハ當該施設部訓令豫算内支辨トシ其ノ豫算整理ニ關シテハ第四號第二項ノ規定ニ同ジ

第九號中「調製シ」ノ下ニ「外地特設設營隊ニ在リテハ」ヲ、

「海軍施設本部總務部長」ノ下ニ「内地特設設營隊ニ在リテハ當該施設部長ニ之ヲ」ヲ加ヘ同號ヲ第十號トス、第七號ヲ第八號、第八號ヲ第九號トシ第六號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

七 特設設營隊資金前渡官吏設營上必要アルトキハ營繕費建築費ヲ以テ前號ノ外左ノ經費ノ支拂ヲ爲スコトヲ得但シ内地特設設營隊ニ在リテハ速ニ之ヲ當該施設部長ニ通報シ其ノ豫算支辨及整理ニ關シテハ前號第四項ノ規定ニ同ジ

(イ) 設營工事實施上必要ナル人件費

(ロ) 設營工事實施上直接必要ナル諸費

土地買收費其ノ他複雑ナルモノハ當該施設部ニ於テ支出ノ手續ヲ爲スコトヲ得ズ

特設設營隊ニ於テハ特令アル場合ノ外營繕費、作場費ノ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ

末尾ニ左ノ一號ヲ加フ

十一 設營工事竣工シタルトキハ特設設營隊長ハ當該施設部長ニ之ヲ引續クモノトス

(參照) 昭和十九年官房設機密第九四四號ハ特設設營隊ノ物品及豫算ノ整理ニ關スル件ナリ(昭和十九年四月二十八日海軍公報部内限)

官房人機密第一七八三號

昭和二年勅令第三百八十一號ニ依リ同十七年九月三十日海軍軍醫、藥劑、主計、技術、齒科醫、法務見習尉官ヲ命ゼラレタル

者ハ特定ノ者(昭和十九年九月三十日豫備役ニ編入セラルベキ者及既ニ永久服役ヲ許可セラレタル者)ヲ除キ海軍將校相當官現役期間特例第五條及海軍武官服役令第三條第一項第一號ノ規定ニ依リ當分ノ間服役期間ヲ延長ス  
昭和十九年九月二十六日  
海軍大臣

官房艦機密第五五六號  
昭和十七年官房機密第二三三號今次戰爭中未成艦船ノ防衛ニ關スル件第一號ヲ左ノ通改正ス  
昭和十九年九月二十六日  
海軍大臣

一 防衛ハ敵飛行機及潜水艦ニ對スル自衛ヲ主眼トシ適宜自艦ニ充當ノ對空對潛兵器ヲ使用シ之ヲ實施スルモノトス  
(内令提要卷一、三〇ノ六九頁參照)

官房備第三一五號  
昭和十八年官房備第二三一號中左ノ通改正ス  
昭和十九年九月二十七日  
海軍大臣

第一號中「十四年」ヲ「十二年」ニ改メ但書ヲ削ル  
第二號中「十四年」ヲ「十二年」ニ改ム  
(諸例則卷四、三六〇ノ一四ノ六頁參照)

内令  
要登載

官房人第九八五號  
大東亞戰爭中下士官ヨリ准士官ニ進級セシメラレタル者ニ對スル履歷書ハ海軍准士官以上履歷書及身上取扱規則第三條第二項ノ規定ニ拘ラス之ヲ調製ヲ要セザルモノトシ下士官タリシトキ履歷原表ヲ履歷書正本、履歷表ヲ同副本トシテ引續キ之ヲ使用シ爾後特務士官ニ任用セラレタル際海軍省人事局長ニ送付スベキ履歷書一通ヲ新ニ調製スルモノトス  
昭和十九年九月二十七日  
海軍大臣

官房人第九八六號  
召集中ノ豫備役武官ニシテ海軍武官服役臨時特例第二條第一項ノ規定ニ依リ現役ニ服スルコトヲ志願スルモノノ取扱ニ關スル件左ノ通定ム  
昭和十九年九月二十七日  
海軍大臣

一 志願資格  
召集中ノ佐尉官(大、中佐ヲ除ク)、特務士官、准士官又ハ下士官ニシテ各相當官階ノ現役武官ト同等以上ノ識量技能ヲ有シ艦隊所屬艦船ノ勤務ニ堪ヘ得ルモノト所轄長ノ認メタルモノ  
二 志願手續  
(イ) 志願者ハ別紙様式ニ依リ願書ヲ佐尉官及特務士官ニ在リテハ海軍大臣ニ、准士官及下士官ニ在リテハ在籍領守府司

令長官ニ所轄長ヲ經テ差出スベシ

(ロ) 所轄長ハ前號ノ願書ヲ受ケタルトキハ考課表ヲ調製(人物總評欄ニ現役復歸ノ適否ニ關シ忌憚無キ所見ヲ附記ス)シ前號ノ願書ニ添ヘ佐尉官ニ在リテハ順序ヲ經テ海軍大臣ニ、特務士官、准士官及下士官ニ在リテハ在籍領守府司令長官ニ進達又ハ移牒スベシ

(ハ) 在籍領守府司令長官ハ前號ノ進達又ハ移牒アリタルトキハ特務士官ニ在リテハ可否ノ意見ヲ附シ海軍大臣ニ進達シ准士官及下士官ニ在リテハ銓衡ノ上許可スベキ者ヲ決定スベシ

三 願書到達期限

昭和十九年十月三十一日

四 現役ニ復歸セシムベキ期日ハ准士官以上ニ在リテハ別ニ之ヲ指示シ下士官ニ在リテハ昭和十九年十一月一日トス

(別紙添)

官房入第九八七號

海軍武官服役臨時特例第二條第一項ノ規定ニ依リ現役ニ服セシメラレタル武官ノ任用進級ニ必要ナル實役停年ニ關シテハ現役中及召集中ノモノヲ通算スルモノトス

昭和十九年九月二十七日

海軍大臣

○ 通 牒

官房備機密第三一八號ノ一一  
昭和十九年九月二十七日

各 廳 長 殿

郵便物ニ關スル件通牒

海 軍 官

内 務 省 官 登 載

昭和十九年官房備機密第三一八號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通改メラレ候

記

附錄部隊區別符表(其ノ一)中ニ

第 三	三 二	航 空 隊	ウ四七貳
第 一	六 九	防 空 隊	ウ四七參
第 二	〇 一	防 空 隊	ウ四七四
第 三	五 二	航 空 隊	ウ四七五
第 三	百 十 六	設 營 隊	ウ四七六
第 一	七 〇	防 空 隊	ウ四七七
母 島	警 備	隊	ウ四七八
第 二	一 〇	航 空 隊	ウ四七九
第 二	〇 二	防 空 隊	ウ四八〇
第 一	〇 一	航 空 戰 隊 司 令 部	ウ四八壹
第 五	〇 七	船 舶 防 空 隊	ウ四八貳

<p>ヲ加フ 同 (其ノ二) 中「第三十一警備隊 テ貳壹」ヲ 第三十一特別根據地隊司令部 テ貳壹</p>	<p>ニ改ム 同 (其ノ三) 中ニ 第十八戰隊司令部 イ壹四六</p>	<p>ヲ加フ 別表海軍軍用郵便所及同派出所一覽表中第八海軍軍用郵便所ノ 項「第二派出所 黃流」ヲ削ル</p>	<p>兵備四機密第五〇〇號ノ三 昭和十九年九月二十六日 海軍省兵備局長 關係各廳長殿 陸軍戰時召集延期實施要領中改正ノ件通知 昨年兵備四機密第四〇〇號(昭和十八年五月十五日海軍公報(部 内限)參照)及本年兵備四機密第五〇〇號(昭和十九年五月二 十日海軍公報(部内限)參照)ニ依ル戰時召集延期實施要領(一 般用)中左記ノ通改正セラレタル旨陸軍省ヨリ通知有之候條可 然取計相成度</p>
<p>五ノ一ヲ左ノ如ク改ム 一 將官ノ戰時召集延期ハ陸軍大臣之ヲ決定シ否決(不明、 不正ノモノヲ含ム)名票ハ調査官ニ返戻ス 五ノ三ノハヲ左ノ如ク改ム (ハ) 師團長ハイ號ニ據リ削除セル者ノ名票及前號ニ據リ提出 セラレタル名票ヲ調査官廳、業務種別、一連番號順ニ整理 ノ上成ルヘク速ニ各調査官ニ返戻シ名簿一通ハ之ヲ當該年 度間保存ス</p>	<p>五ノ五ヲ左ノ如ク改ム 五 調査官第一號及第三號(ハ)號ノ名票ノ返戻ヲ受ケタルトキ ハ不明又ハ不正名票ニ限リ再調査ノ上所要ノ事項ヲ修正記 入(返戻セラレタル名票ニ記入スルモノトス)シ成ルヘク 速ニ本籍地所管師團長ニ再送付スルモノトス</p>	<p>海人機密第一六八號 昭和十九年九月二十七日 海軍省人事局長 關係各所轄長殿 整備員(准士官以上)配置表記註ニ關スル件 通牒 官房人第四四六號ニ依ル首題ノ件中左記該當事項ハ配員上參考 ト爲ルベキ事項欄ニ記入ノコトニ取計相成度</p>	

秘海軍公報 第四八一號 昭和十九年九月二十八日

一三〇一

二 前回調製後退隊(艦)セル者ハ仍前回通記載ノ上退隊(艦)年月日及轉勤先  
 三 轉勤發令セラレクルモ未ダ退隊(艦)セル者ニ對シテハ補職年月日及轉勤先

經豫機密第三號ノ六七  
 昭和十九年九月二十六日  
 海軍省 經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿  
 日本銀行代理店閉鎖ノ件通知

パラオ諸島パラオ島所在日本銀行代理店ハ昭和十九年九月十五日閉鎖致候

艦本機密第一六號ノ一六三九七  
 和十九年九月二十六日

海軍艦政本部總務部長  
 海軍航空本部總務部長  
 海軍電波本部總務部長

關係各工作廳長殿

研究實驗季報廢止ニ關スル件申進

首題ノ件當分ノ間研究實驗事務取扱規程第二十條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ調製提出(送付)セザルコトニ定メラレ候

○雜 款

○開隊  
 第二一〇海軍航空隊ハ愛知縣碧海郡明治村明治航空基地内ニ開隊セリ  
 順路 東海道本線刈谷驛經由名古屋鐵道三河線乘換新川驛下車徒歩約五軒  
 電話 海軍電話 名古屋監督官事務室交換―明治航空基地市内電話 三河新川 三三〇番  
 (第二一〇海軍航空隊)

○基地移轉  
 吳潜水艦基地ハ九月十五日本部ヲ左ニ移轉セリ  
 吳市新宮(舊潜水學校吳分校跡)  
 (電話 吳鎮交換 二七四六番)  
 尙舊防備隊跡ハ城山分隊(電話 吳鎮交換 二六一一番)ト呼稱ス  
 (吳潜水艦基地)

○事務所移轉  
 第三百十七設營隊ハ九月四日吳海軍施設部ヨリ高知航空基地ニ移轉セリ

○訂正  
 九月二日附秘海軍公報通牒欄二一八九頁航本機密第一〇八三七號零式戰鬥機五二型用プロペラ角度變更ノ項中取付角「三二度―五一度」ヲ「二三度―五一度」ニ訂正ス

(官房軍機密第二二四一號別表)

(昭和十九年九月二十八日海軍公報)

委員	陸軍省軍務局長
員	海軍省軍務局長
長	軍需省總動員局長

陸軍	海軍	軍需省																																																															
<table border="1"> <tr> <td>陸軍省軍務局軍事課長</td> <td>陸軍省軍務局第一課長</td> <td>軍需省總動員局總務部總務課長</td> </tr> <tr> <td>陸軍省整備局戰備課長</td> <td>海軍省軍務局第一課長</td> <td>軍需省總動員局總務部總務課長</td> </tr> <tr> <td>參謀本部第三課長</td> <td>海軍省兵備局第二課長</td> <td>軍需省總動員局總務部第一課長</td> </tr> <tr> <td>陸軍兵器行政本部總務部第一課長</td> <td>軍令部第三課長</td> <td>軍需省化學局化政課長</td> </tr> <tr> <td>陸軍航空本部總務部總務課長</td> <td>海軍艦政本部總務部第一課長</td> <td>軍需省航空兵器總務局總務課長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>海軍航空本部總務部第一課長</td> <td>軍需省航空兵器總務局總務課長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>海軍省軍需局特藥部部員</td> <td>軍需省航空兵器總務局第三局化學課長</td> </tr> </table>	陸軍省軍務局軍事課長	陸軍省軍務局第一課長	軍需省總動員局總務部總務課長	陸軍省整備局戰備課長	海軍省軍務局第一課長	軍需省總動員局總務部總務課長	參謀本部第三課長	海軍省兵備局第二課長	軍需省總動員局總務部第一課長	陸軍兵器行政本部總務部第一課長	軍令部第三課長	軍需省化學局化政課長	陸軍航空本部總務部總務課長	海軍艦政本部總務部第一課長	軍需省航空兵器總務局總務課長		海軍航空本部總務部第一課長	軍需省航空兵器總務局總務課長		海軍省軍需局特藥部部員	軍需省航空兵器總務局第三局化學課長	<table border="1"> <tr> <td>陸軍省軍務局軍事課長</td> <td>海軍省軍務局第一課長</td> <td>軍需省總動員局總務部總務課長</td> </tr> <tr> <td>陸軍省整備局戰備課長</td> <td>海軍省兵備局第一課長</td> <td>軍需省總動員局總務部總務課長</td> </tr> <tr> <td>參謀本部第三課長</td> <td>海軍省兵備局第二課長</td> <td>軍需省總動員局總務部第一課長</td> </tr> <tr> <td>陸軍兵器行政本部總務部第一課長</td> <td>軍令部第三課長</td> <td>軍需省化學局化政課長</td> </tr> <tr> <td>陸軍航空本部總務部總務課長</td> <td>海軍艦政本部總務部第一課長</td> <td>軍需省航空兵器總務局總務課長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>海軍航空本部總務部第一課長</td> <td>軍需省航空兵器總務局總務課長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>海軍省軍需局特藥部部員</td> <td>軍需省航空兵器總務局第三局化學課長</td> </tr> </table>	陸軍省軍務局軍事課長	海軍省軍務局第一課長	軍需省總動員局總務部總務課長	陸軍省整備局戰備課長	海軍省兵備局第一課長	軍需省總動員局總務部總務課長	參謀本部第三課長	海軍省兵備局第二課長	軍需省總動員局總務部第一課長	陸軍兵器行政本部總務部第一課長	軍令部第三課長	軍需省化學局化政課長	陸軍航空本部總務部總務課長	海軍艦政本部總務部第一課長	軍需省航空兵器總務局總務課長		海軍航空本部總務部第一課長	軍需省航空兵器總務局總務課長		海軍省軍需局特藥部部員	軍需省航空兵器總務局第三局化學課長	<table border="1"> <tr> <td>陸軍省軍務局軍事課長</td> <td>海軍省軍務局第一課長</td> <td>軍需省總動員局總務部總務課長</td> </tr> <tr> <td>陸軍省整備局戰備課長</td> <td>海軍省兵備局第一課長</td> <td>軍需省總動員局總務部總務課長</td> </tr> <tr> <td>參謀本部第三課長</td> <td>海軍省兵備局第二課長</td> <td>軍需省總動員局總務部第一課長</td> </tr> <tr> <td>陸軍兵器行政本部總務部第一課長</td> <td>軍令部第三課長</td> <td>軍需省化學局化政課長</td> </tr> <tr> <td>陸軍航空本部總務部總務課長</td> <td>海軍艦政本部總務部第一課長</td> <td>軍需省航空兵器總務局總務課長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>海軍航空本部總務部第一課長</td> <td>軍需省航空兵器總務局總務課長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>海軍省軍需局特藥部部員</td> <td>軍需省航空兵器總務局第三局化學課長</td> </tr> </table>	陸軍省軍務局軍事課長	海軍省軍務局第一課長	軍需省總動員局總務部總務課長	陸軍省整備局戰備課長	海軍省兵備局第一課長	軍需省總動員局總務部總務課長	參謀本部第三課長	海軍省兵備局第二課長	軍需省總動員局總務部第一課長	陸軍兵器行政本部總務部第一課長	軍令部第三課長	軍需省化學局化政課長	陸軍航空本部總務部總務課長	海軍艦政本部總務部第一課長	軍需省航空兵器總務局總務課長		海軍航空本部總務部第一課長	軍需省航空兵器總務局總務課長		海軍省軍需局特藥部部員	軍需省航空兵器總務局第三局化學課長
陸軍省軍務局軍事課長	陸軍省軍務局第一課長	軍需省總動員局總務部總務課長																																																															
陸軍省整備局戰備課長	海軍省軍務局第一課長	軍需省總動員局總務部總務課長																																																															
參謀本部第三課長	海軍省兵備局第二課長	軍需省總動員局總務部第一課長																																																															
陸軍兵器行政本部總務部第一課長	軍令部第三課長	軍需省化學局化政課長																																																															
陸軍航空本部總務部總務課長	海軍艦政本部總務部第一課長	軍需省航空兵器總務局總務課長																																																															
	海軍航空本部總務部第一課長	軍需省航空兵器總務局總務課長																																																															
	海軍省軍需局特藥部部員	軍需省航空兵器總務局第三局化學課長																																																															
陸軍省軍務局軍事課長	海軍省軍務局第一課長	軍需省總動員局總務部總務課長																																																															
陸軍省整備局戰備課長	海軍省兵備局第一課長	軍需省總動員局總務部總務課長																																																															
參謀本部第三課長	海軍省兵備局第二課長	軍需省總動員局總務部第一課長																																																															
陸軍兵器行政本部總務部第一課長	軍令部第三課長	軍需省化學局化政課長																																																															
陸軍航空本部總務部總務課長	海軍艦政本部總務部第一課長	軍需省航空兵器總務局總務課長																																																															
	海軍航空本部總務部第一課長	軍需省航空兵器總務局總務課長																																																															
	海軍省軍需局特藥部部員	軍需省航空兵器總務局第三局化學課長																																																															
陸軍省軍務局軍事課長	海軍省軍務局第一課長	軍需省總動員局總務部總務課長																																																															
陸軍省整備局戰備課長	海軍省兵備局第一課長	軍需省總動員局總務部總務課長																																																															
參謀本部第三課長	海軍省兵備局第二課長	軍需省總動員局總務部第一課長																																																															
陸軍兵器行政本部總務部第一課長	軍令部第三課長	軍需省化學局化政課長																																																															
陸軍航空本部總務部總務課長	海軍艦政本部總務部第一課長	軍需省航空兵器總務局總務課長																																																															
	海軍航空本部總務部第一課長	軍需省航空兵器總務局總務課長																																																															
	海軍省軍需局特藥部部員	軍需省航空兵器總務局第三局化學課長																																																															
<table border="1"> <tr> <td>陸軍省軍務局軍事課長</td> <td>陸軍省整備局戰備課長</td> <td>參謀本部第三課長</td> <td>陸軍兵器行政本部總務部第一課長</td> <td>陸軍航空本部總務部總務課長</td> </tr> </table>	陸軍省軍務局軍事課長	陸軍省整備局戰備課長	參謀本部第三課長	陸軍兵器行政本部總務部第一課長	陸軍航空本部總務部總務課長	<table border="1"> <tr> <td>陸軍省軍務局第一課長</td> <td>海軍省軍務局第一課長</td> <td>海軍省兵備局第一課長</td> <td>海軍省兵備局第二課長</td> <td>軍令部第三課長</td> <td>海軍艦政本部總務部第一課長</td> <td>海軍航空本部總務部第一課長</td> <td>海軍省軍需局特藥部部員</td> </tr> </table>	陸軍省軍務局第一課長	海軍省軍務局第一課長	海軍省兵備局第一課長	海軍省兵備局第二課長	軍令部第三課長	海軍艦政本部總務部第一課長	海軍航空本部總務部第一課長	海軍省軍需局特藥部部員	<table border="1"> <tr> <td>軍需省總動員局總務部總務課長</td> <td>軍需省總動員局總務部總務課長</td> <td>軍需省總動員局總務部第一課長</td> <td>軍需省化學局化政課長</td> <td>軍需省航空兵器總務局總務課長</td> <td>軍需省航空兵器總務局總務課長</td> <td>軍需省航空兵器總務局第三局化學課長</td> </tr> </table>	軍需省總動員局總務部總務課長	軍需省總動員局總務部總務課長	軍需省總動員局總務部第一課長	軍需省化學局化政課長	軍需省航空兵器總務局總務課長	軍需省航空兵器總務局總務課長	軍需省航空兵器總務局第三局化學課長																																											
陸軍省軍務局軍事課長	陸軍省整備局戰備課長	參謀本部第三課長	陸軍兵器行政本部總務部第一課長	陸軍航空本部總務部總務課長																																																													
陸軍省軍務局第一課長	海軍省軍務局第一課長	海軍省兵備局第一課長	海軍省兵備局第二課長	軍令部第三課長	海軍艦政本部總務部第一課長	海軍航空本部總務部第一課長	海軍省軍需局特藥部部員																																																										
軍需省總動員局總務部總務課長	軍需省總動員局總務部總務課長	軍需省總動員局總務部第一課長	軍需省化學局化政課長	軍需省航空兵器總務局總務課長	軍需省航空兵器總務局總務課長	軍需省航空兵器總務局第三局化學課長																																																											

備考

委員及同輔佐欄中海軍省軍需局特藥部部員中各一ハ陸軍及軍需省ヨリノ兼勤者ヲ充當スルモノトス

(官房人第九八六號別紙様式)

(昭和十九年九月二十八日秘海軍公報)

昭和 年 月 日

職(下士官ハ)  
所轄名

官 氏

電報符(入籍番號) 名 ⑩

海軍大臣(、、、鎮守府司令長官)殿

現 役 復 役 願

海軍武官服役臨時特例第二條第一項ノ規定ニ依リ現役ニ服シ度ニ付御許可相成度左記必要事項ヲ具シ此段及出願候

記

- 一 海軍出身年月日
- 一 現官任用進級年月日
- 一 豫備役編入年月日
- 一 應召年月日
- 一 現役年限年齢ニ達スル年月日



秘

2156

海軍公報 第四八一二號

昭和十九年九月二十九日(金) 海軍大臣官房

命令 達

内令第一〇九號  
艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年九月二十五日

軍艦、巡洋艦二等大淀型ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

八十島

海防艦ノ部中「八十島」ヲ削ル

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令第一一一〇號

昭和十八年内令第二四五四號中左ノ通改正ス

昭和十九年九月二十五日

海軍大臣

内令提要  
要登載

第二號、第三號及第五號ヲ夫々左ノ如ク改ム

二 艦船搭載重量月報

(イ) 軍艦

海軍艦政本部長特ニ指示スルモノニ限り提出又ハ送付ヲ省

略スルコトヲ得

(ロ) 驅逐艦、潜水艦、海防艦、輸送艦

同一建造所ニ於ケル同型第三艦以降ニ在リテハ提出又ハ送付ヲ省略スルコトヲ得

三 搭載重量月報(船體)

(イ) 軍艦

第二號(イ)ニ同ジ

(ロ) 驅逐艦、潜水艦、海防艦、輸送艦

第二號(ロ)ニ同ジ

五 受託工事月報

提出又ハ送付ヲ要セズ

(参照) 昭和十八年内令第二四五四號ハ大東亞戰爭中艦船造修規則ノ規定ニ拘ラズ月報等ヲ省略シ得ルノ件ナリ

官房第一五七號

海軍志願者身體検査戰時特例左ノ通定ム

昭和十九年九月二十六日

海軍大臣

海軍志願者身體検査戰時特例

大東亞戰爭中海軍志願者採用時又ハ入團(隊、校)時身體検査ノ際體重ニシテ當該規格ニ不足スルコト二疋以内ノ者ハ海軍身體検査規則又ハ海軍志願者身體検査規則ニ拘ラズ他ノ身體所見ヲ參酌シ之ヲ合格ト爲スコトヲ得

秘海軍公報 第四八一二號 昭和十九年九月二十九日

一三〇三

官房人機密第一七八四號

本年官房人機密第二七八號及同第二七九號中左ノ通改正ス、

昭和十九年九月二十七日

海軍大臣

一 官房人機密第二七八號中左ノ如ク改ム

(イ) 第一號表入團(隊、校)期日ノ欄中徵兵、整備兵ノ項「九月二十五日」ヲ「六月十五日」ニ改メ「十一月二十五日」ノ下ニ「十二月二十五日」ヲ加ヘ志願兵、甲種飛行豫科練習生志願者及乙種飛行豫科練習生志願者ノ項

四月一日、十月一日
六月一日、八月一日

四月一日、五月十五日、六月一日、六月十五日、七月十五日、八月十五日、九月十五日、十月十五日、十一月十五日、十二月十五日
五月十五日、六月一日、六月十五日、八月一日、八月十五日、八月二十日、九月十五日、十月十五日、十一月十五日、十二月十五日

改メ同整備兵ノ項「八月十五日」ノ下ニ「九月二十五日、十月二十五日」ヲ、同右以外ノ者ノ項「五月二十五日」ノ下ニ「十月十日」ヲ加フ  
(ロ) 第二號表入團期日及終業豫定期日ノ欄志願兵、其ノ他ノ項中入團期日五月二十五日ノ項ノ次ニ

十月十日 一月二十五日 ヲ加フ

二 官房人機密第二七九號中左ノ如ク改ム

(イ) 第二號(イ)第一項末尾ニ「但シ十月十日入團ノ普通科暗號術練習生採用豫定者タル水兵ハ之ヲ各所屬ノ海兵團ニ入團セシメ新兵教程終業後横須賀海軍通信學校豊川分校ニ入校ノ新兵ノ項ノ次ニ

昭和十九年十月十日 昭和十九年十二月二十日 ヲ加フ  
入團又ハ入校ノ新兵

(ロ) 同號(ホ)表中昭和十九年九月二十五日入團ノ徵兵ノ項ノ次ニ 昭和十九年十月十日 昭和十九年十二月二十日 ヲ加フ、

(昭和十九年二月四日本欄参照)

官房人機密第一七八五號

昭和二十年度ニ於テ下士官候補者ヲ別表ニ依リ採用ス

昭和十九年九月二十七日

海軍大臣

(別表添)

官房人機密第一七八八號

昭和十四年官房機密第六五八九號各種特技兵補特務員並ニ人事取扱ニ關スル件左ノ通改正ス  
昭和十九年九月二十八日

内閣 登記

## 海軍大臣

## 特技兵臨時講習及人事取扱規則

## 第一章 總則

第一條 特修兵ニ非ザル下士官及兵ニ對シテ特修兵ニ準ズル勤務ニ服務セシムルニ必要ナル技能ヲ修得セシムル爲メ特技兵講習ヲ實施ス

前項ノ講習ヲ修了シタル者ハ第十條ノ規定ニ依リテ特修兵ト爲ル者ノ外之ヲ特技兵トシ其ノ講習種別ニ應ジ何々特技兵ト稱ス

第二條 特技兵ノ講習種別ハ海軍特修兵令第一條各號ノ特別技術(潛航術及軍樂術ヲ除ク)別トシ必要ニ應ジ更ニ之ヲ專修班ニ分ツ

前項ノ規定ニ依リテ專修班ヲ分テ講習ヲ實施シタル場合合同講習終了者タル特修兵及特技兵ノ呼稱ニハ專修區分ヲ附スルモノトス

## 第二章 講習員ノ選抜及採用

第三條 特技兵講習員ハ特修兵又ハ特技兵ニ非ザル服役延期又ハ應召中ノ下士官及一等兵以上ノ兵ニシテ左ノ各號ニ該當スル者ヨリ各科別ニ從ヒ之ヲ採用スルヲ例トシ現役下士官及兵(服役延期中ノ者ヲ除ク)ヨリ之ヲ採用シ又ハ科別ニ拘ラズ之ヲ採用スル場合ハ其ノ都度之ヲ定ム

一 品行方正ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者  
二 第二條第一項ノ規定ニ依ル特別技術ノ要務ヲ執ラシムル

ニ適當ナル性能學力ヲ有スト認ムル者

三 海軍練習生採用身體検査ニ關スル規定ニ準ズル身體検査ニ合格シタル者但シ素質優秀ニシテ陸上普通勤務ニ適スト認ムル者ハ特ニ合格ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ選抜表身體欄ニ其ノ旨附記スルモノトス

第四條 特技兵講習員ヲ採用スルトキハ講習科目、講習員數及講習場所等ヲ定メ其ノ都度之ヲ告達ス

鎮守府司令長官ハ前項ノ告達アリタルトキハ艦船部隊其ノ他各部(當該鎮守府在籍下士官及兵ノ勤務スルモノニ在リテハ其ノ所屬ノ如何ヲ問ハズ)ノ長ヲシテ前條ノ規定ニ適合スル者ヲ選抜シ選抜表(海軍砲術學校普通科練習生選抜表ニ準ズ)ヲ調製シ報告セシムベシ

第五條 鎮守府司令長官ハ特技兵講習員ヲ採用シタルトキハ機宜必要事項ヲ通達シ所轄長ヲシテ所定期日內ニ講習實施應ニ之ヲ入應セシムベシ

## 第三章 講習ノ實施

第六條 特技兵講習教程標準ハ海軍省教育局長ヲシテ之ヲ通牒セシム

第七條 講習實施廳長ハ講習教程標準ニ基キ講習實施ニ關スル細目ヲ定メ所屬長官ノ認許ヲ得テ之ヲ實施スベシ

第八條 講習實施廳長ハ講習終了後實施經過ノ概要並ニ所見及修業成績ヲ所屬長官及講習員在籍ノ鎮守府司令長官ニ報告スベシ

所屬長官ハ前項ノ報告アリタルトキハ之ニ意見ヲ附シ海軍大臣ニ提出スベシ

第四章 配員及身上取扱

第九條 講習員ハ講習期間中ノ講習實施廳ニ入應セシメ之方身上取扱等ハ練習生ニ準ズ但シ必要ニ應ジ特ニ定ムル各部ニ之ヲ起臥セシムルコトヲ得

第十條 講習期間二月以上ノ特技兵講習ヲ修了シタル者ノ普通科特修兵ト概ネ同等ノ技術ヲ有スト認ムルモノ及素質優秀ニシテ發達ノ見込アリ普通科特修兵ト爲スヲ適當ト認ムル者ハ其ノ特技及專修別ニ從ヒ當該普通科練習生教程ヲ卒業シタル者ト看做シ教育廳長ハ講習修了ノ際之ニ普通科特修兵ヲ付與スベシ但シ特修兵ヲ付與シ得ル範圍ハ概ネ講習修業成績席次百分ノ八十以内ノ者トス

第十一條 前條ノ規定ニ依リ特修兵ト爲リタル者ノ特技章成績ハ特技兵講習修業成績ニ依リ同期講習員中特技章ヲ付與シタル員數内ニ於テ順序ヲ定メ何人中ノ何番ナル字句ヲ用ヒ之ヲ本人ノ考課調査表ニ記註スベシ

第十二條 鎮守府司令長官ハ左ノ上欄ニ掲グル特修兵又ハ特技兵ト爲リタル者ニシテ各其ノ相當ノ下欄ニ掲グル科以外ノモノハ海軍武官任用令第二十九條第一項又ハ昭和十七年勅令第八百十號ノ規定ニ依リ各其ノ相當ノ下欄ニ掲グル科ノ下士官又ハ兵ニ任用シ又ハ轉科若ハ兵種ヲ變更スルモノトス

種別	特修兵及特技兵	科又ハ兵種別	種別	特修兵及特技兵	科又ハ兵種別
砲	砲	水兵科	飛行	飛行	飛行
測	測		兵器整備	兵器整備	整備
水	水		飛行機整備	飛行機整備	整備
機	機		機	機	機
水	水		内火	内火	機
運	運		電機	電機	機
信	信		工	工	機
氣	氣		看護	看護	機
電	電		經理	經理	機
暗	暗		衣糧	衣糧	機
電	電			主計	
測	測			科	

第十三條 特技兵ハ之ヲ當該特修兵定員ノ一部ニ充當シ又ハ實地練習ノ爲定員外トシテ配置スルヲ例トス

第十四條 特技兵ニ對スル任用進級拔擢名簿ノ調製及履歴表考課表、考課調査表等ノ記註ニ關シテハ特修兵ニ準ズ

第十五條 特技兵ニ對スル任用進級試驗ハ海軍下士官任用進級試驗規則第九條ノ規定ニ拘ラズ各當該特修兵ノ試驗科目ニ

ル者アルトキハ當該教育廳長之ヲ調製記註スベシ

依リ之ヲ施行ス

第十六條 所轄長ハ特技兵講習ヲ修了シタル者ニシテ第十條ノ規定ニ依リ特技章ヲ付與セラザリシモノ及講習期間二月未満ノ特技兵講習ヲ修了シタル者ヲ配員セラレタルトキハ配置教育ニ依リ技術ノ向上ヲ圖リ特修兵養成ニ關スル特例第二章ノ規定ニ依ル銓衡試験ヲ受験セシムル如ク之ヲ指導スルモノトス

鎮守府司令長官特技兵ニシテ前項ノ規定ニ依リ特技章ヲ付與セララルニ至ラザルモノハ現役滿期、服役延期解止又ハ召集解除等ニ依リ退團ノ際其ノ特技別ニ從ヒ特ニ普通科特技章ヲ付與スルモノトス但シ特技章ノ成績順序ハ之ヲ附セズ

附則

本令ハ昭和十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際從前ノ規定ニ依リ各種特技兵講習員トシテ現ニ修業中又ハ採用手續中ノ者ハ之ヲ本令ニ依ル各種特技兵講習員トシテ取扱フモノトス

本令施行ノ際從前ノ規定ニ依ル各種特技兵講習ヲ修了シタル者又ハ其ノ他ノ者ニシテ現ニ各種特技兵タル者ハ特別ノ事由アル者ヲ除キ其ノ特技別ニ從ヒ當該普通科練習生教程ヲ卒業シタルモノト看做シ鎮守府司令長官ハ昭和十九年十月一日之ニ普通科特技章ヲ付與スルモノトス

海軍省教育局長ヨリ通牒スベキ各種特技兵講習教程標準中昭和十四年官房機密第六五八九號第七號ノ規定ニ依リ通牒ノ各種特

技兵教程標準ハ別ニ通牒ノトキ迄之ヲ本令第八條ノ規定ニ依リ通牒ノ教程標準ト看做ス

官房人機密第一七八九號

大東亞戰爭中特修兵養成ニ關スル特例左ノ通定

昭和十九年九月二十八日

特修兵養成ニ關スル特例

海軍

内令提  
要登載

第一章 各種練習生ノ取扱

第一條 練習生ヲ採用スル場合ニ於テハ作戰部隊ノ戦力低下ヲ防止シ且補充交代ニ伴フ人員ノ輸送ヲ緩和スル如ク主トシテ轉出容易ナル艦船部隊其ノ他各部ノ勤務員中ヨリ銓衡スルト共ニ新兵(基礎)教育修業者等ノ配員ニ當リテハ練習生採用者ヲ豫定シ成ルベク之ヲ内地所在ノ部隊等ニ轉勤セシムルモノトス

第二條 特修科、高等科及專修科各種練習生ハ官職階、實役停年、海上(航空)勤務等ノ期間又ハ年齢ニ關スル選抜資格ノ規定ニ拘ラズ現役(服役延期ヲ含ム)又ハ應召中ノ下士官及兵長ヨリ之ヲ採用スルモノトス但シ要員充足上必要アル場合ニ於テハ特修科各種練習生ハ高等科各種練習生ニ引續キ之ヲ採用シ又高等科各種練習生ハ普通科特技章ヲ付與セラレタル日ヨリ概ネ六月以上ノ勤務日數(普通科整備備衛章ヲ有スル者ニ在リテハ勤務日數ニ拘ラズ)アル上等兵ヨリ之ヲ採用スルコトヲ得

秘海軍公報 第四八二二號 昭和十九年九月二十九日

第三條 普通科各種練習生(水測術、信號術、氣象術、電信術、電測術、暗號術、潛航術、工作術、軍樂術及看護術ヲ除ク)ハ官職階及實役停年ニ關スル選抜資格ノ規定ニ拘ラズ現役(服役延期ヲ含ム)若ハ應召中ノ下士官及兵(二等兵ヲ除ク)ヨリ之ヲ採用シ又ハ新兵教育ニ引續キ之ヲ採用スルコトヲ得前項後段ノ場合ニ於テハ領守府司令長官ハ採用豫定員數ヲ通達シ各教育廳長ヲシテ新兵ニ就キ其ノ修業中ノ成績ヲ斟酌シ採用者ヲ銓衡ノ上報告セシムルモノトス		第三條 普通科各種練習生(水測術、信號術、氣象術、電信術、電測術、暗號術、潛航術、工作術、軍樂術及看護術ヲ除ク)ハ官職階及實役停年ニ關スル選抜資格ノ規定ニ拘ラズ現役(服役延期ヲ含ム)若ハ應召中ノ下士官及兵(二等兵ヲ除ク)ヨリ之ヲ採用シ又ハ新兵教育ニ引續キ之ヲ採用スルコトヲ得前項後段ノ場合ニ於テハ領守府司令長官ハ採用豫定員數ヲ通達シ各教育廳長ヲシテ新兵ニ就キ其ノ修業中ノ成績ヲ斟酌シ採用者ヲ銓衡ノ上報告セシムルモノトス	
一 船中ノ免狀ヲ有スルモノ	一 船中ノ免狀ヲ有スルモノ	一 船中ノ免狀ヲ有スルモノ	一 船中ノ免狀ヲ有スルモノ
二 船中ノ操舵手業務ニ從事シタルモノ	二 船中ノ操舵手業務ニ從事シタルモノ	二 船中ノ操舵手業務ニ從事シタルモノ	二 船中ノ操舵手業務ニ從事シタルモノ
一 測候所、研究所等ニ於テ氣象觀測又ハ天候豫報ニ從事シタルモノ	一 測候所、研究所等ニ於テ氣象觀測又ハ天候豫報ニ從事シタルモノ	一 測候所、研究所等ニ於テ氣象觀測又ハ天候豫報ニ從事シタルモノ	一 測候所、研究所等ニ於テ氣象觀測又ハ天候豫報ニ從事シタルモノ
二 通信士ノ資格免狀ヲ有スルモノ	二 通信士ノ資格免狀ヲ有スルモノ	二 通信士ノ資格免狀ヲ有スルモノ	二 通信士ノ資格免狀ヲ有スルモノ
一 左ノ規格ニ適合スル電信技術ヲ有スルモノ	一 左ノ規格ニ適合スル電信技術ヲ有スルモノ	一 左ノ規格ニ適合スル電信技術ヲ有スルモノ	一 左ノ規格ニ適合スル電信技術ヲ有スルモノ
送信(假名文〇〇字)毎分五十字 受信(假名文〇〇字)毎分六十五字 誤字(脱字冗字)率送受信共5%以内	送信(假名文〇〇字)毎分五十字 受信(假名文〇〇字)毎分六十五字 誤字(脱字冗字)率送受信共5%以内	送信(假名文〇〇字)毎分五十字 受信(假名文〇〇字)毎分六十五字 誤字(脱字冗字)率送受信共5%以内	送信(假名文〇〇字)毎分五十字 受信(假名文〇〇字)毎分六十五字 誤字(脱字冗字)率送受信共5%以内
從事シタル業務又ハ免狀資格別	從事シタル業務又ハ免狀資格別	從事シタル業務又ハ免狀資格別	從事シタル業務又ハ免狀資格別
練習生	練習生	練習生	練習生
一 船中ノ運轉ノ免狀ヲ有スルモノ	一 船中ノ運轉ノ免狀ヲ有スルモノ	一 船中ノ運轉ノ免狀ヲ有スルモノ	一 船中ノ運轉ノ免狀ヲ有スルモノ
二 船中ノ操舵手業務ニ從事シタルモノ	二 船中ノ操舵手業務ニ從事シタルモノ	二 船中ノ操舵手業務ニ從事シタルモノ	二 船中ノ操舵手業務ニ從事シタルモノ
一 測候所、研究所等ニ於テ氣象觀測又ハ天候豫報ニ從事シタルモノ	一 測候所、研究所等ニ於テ氣象觀測又ハ天候豫報ニ從事シタルモノ	一 測候所、研究所等ニ於テ氣象觀測又ハ天候豫報ニ從事シタルモノ	一 測候所、研究所等ニ於テ氣象觀測又ハ天候豫報ニ從事シタルモノ
二 通信士ノ資格免狀ヲ有スルモノ	二 通信士ノ資格免狀ヲ有スルモノ	二 通信士ノ資格免狀ヲ有スルモノ	二 通信士ノ資格免狀ヲ有スルモノ
一 左ノ規格ニ適合スル電信技術ヲ有スルモノ	一 左ノ規格ニ適合スル電信技術ヲ有スルモノ	一 左ノ規格ニ適合スル電信技術ヲ有スルモノ	一 左ノ規格ニ適合スル電信技術ヲ有スルモノ
送信(假名文〇〇字)毎分五十字 受信(假名文〇〇字)毎分六十五字 誤字(脱字冗字)率送受信共5%以内	送信(假名文〇〇字)毎分五十字 受信(假名文〇〇字)毎分六十五字 誤字(脱字冗字)率送受信共5%以内	送信(假名文〇〇字)毎分五十字 受信(假名文〇〇字)毎分六十五字 誤字(脱字冗字)率送受信共5%以内	送信(假名文〇〇字)毎分五十字 受信(假名文〇〇字)毎分六十五字 誤字(脱字冗字)率送受信共5%以内
普通科電測術(哨戒)練習生	普通科電測術(哨戒)練習生	普通科電測術(哨戒)練習生	普通科電測術(哨戒)練習生
一 立取扱ニ從事シタルモノ	一 立取扱ニ從事シタルモノ	一 立取扱ニ從事シタルモノ	一 立取扱ニ從事シタルモノ
二 飛行機操縦、同發動機及關聯兵器整備取扱ニ從事シタルモノ	二 飛行機操縦、同發動機及關聯兵器整備取扱ニ從事シタルモノ	二 飛行機操縦、同發動機及關聯兵器整備取扱ニ從事シタルモノ	二 飛行機操縦、同發動機及關聯兵器整備取扱ニ從事シタルモノ
一 船中ノ機關士ノ免狀ヲ有スルモノ	一 船中ノ機關士ノ免狀ヲ有スルモノ	一 船中ノ機關士ノ免狀ヲ有スルモノ	一 船中ノ機關士ノ免狀ヲ有スルモノ
二 蒸氣機關ノ取扱ニ從事シタルモノ	二 蒸氣機關ノ取扱ニ從事シタルモノ	二 蒸氣機關ノ取扱ニ從事シタルモノ	二 蒸氣機關ノ取扱ニ從事シタルモノ
一 船中ノ機關士ノ免狀ヲ有スルモノ	一 船中ノ機關士ノ免狀ヲ有スルモノ	一 船中ノ機關士ノ免狀ヲ有スルモノ	一 船中ノ機關士ノ免狀ヲ有スルモノ
二 内火機關ノ取扱ニ從事シタルモノ	二 内火機關ノ取扱ニ從事シタルモノ	二 内火機關ノ取扱ニ從事シタルモノ	二 内火機關ノ取扱ニ從事シタルモノ
一 自動運轉ノ免狀ヲ有スルモノ	一 自動運轉ノ免狀ヲ有スルモノ	一 自動運轉ノ免狀ヲ有スルモノ	一 自動運轉ノ免狀ヲ有スルモノ
二 自動運轉ニ關スル業務ニ從事シタルモノ	二 自動運轉ニ關スル業務ニ從事シタルモノ	二 自動運轉ニ關スル業務ニ從事シタルモノ	二 自動運轉ニ關スル業務ニ從事シタルモノ
一 電機ノ組立、取扱ニ從事シタルモノ	一 電機ノ組立、取扱ニ從事シタルモノ	一 電機ノ組立、取扱ニ從事シタルモノ	一 電機ノ組立、取扱ニ從事シタルモノ
二 一般金屬工業ニ從事シタルモノ	二 一般金屬工業ニ從事シタルモノ	二 一般金屬工業ニ從事シタルモノ	二 一般金屬工業ニ從事シタルモノ
三 木工工業ニ從事シタルモノ	三 木工工業ニ從事シタルモノ	三 木工工業ニ從事シタルモノ	三 木工工業ニ從事シタルモノ
業務ニ從事シタルモノ	業務ニ從事シタルモノ	業務ニ從事シタルモノ	業務ニ從事シタルモノ
一 病院ニ於ケル現業ニ從事シタルモノ	一 病院ニ於ケル現業ニ從事シタルモノ	一 病院ニ於ケル現業ニ從事シタルモノ	一 病院ニ於ケル現業ニ從事シタルモノ
二 診療、醫務、衛生業務ニ從事シタルモノ	二 診療、醫務、衛生業務ニ從事シタルモノ	二 診療、醫務、衛生業務ニ從事シタルモノ	二 診療、醫務、衛生業務ニ從事シタルモノ
一 中等學校以上ノ學校ヲ卒業シ庶務、會計經理等ノ事務ニ從事シタルモノ	一 中等學校以上ノ學校ヲ卒業シ庶務、會計經理等ノ事務ニ從事シタルモノ	一 中等學校以上ノ學校ヲ卒業シ庶務、會計經理等ノ事務ニ從事シタルモノ	一 中等學校以上ノ學校ヲ卒業シ庶務、會計經理等ノ事務ニ從事シタルモノ
二 被服ノ裁縫、修補等ニ從事シタルモノ	二 被服ノ裁縫、修補等ニ從事シタルモノ	二 被服ノ裁縫、修補等ニ從事シタルモノ	二 被服ノ裁縫、修補等ニ從事シタルモノ
一 和洋食ノ献立調理等ニ從事シタルモノ	一 和洋食ノ献立調理等ニ從事シタルモノ	一 和洋食ノ献立調理等ニ從事シタルモノ	一 和洋食ノ献立調理等ニ從事シタルモノ
海軍入籍後教育訓練ニ依リ之ガ技能ヲ修得シ其ノ技倆優秀ナル者ニ付亦前項ノ規定ヲ準用ス	海軍入籍後教育訓練ニ依リ之ガ技能ヲ修得シ其ノ技倆優秀ナル者ニ付亦前項ノ規定ヲ準用ス	海軍入籍後教育訓練ニ依リ之ガ技能ヲ修得シ其ノ技倆優秀ナル者ニ付亦前項ノ規定ヲ準用ス	海軍入籍後教育訓練ニ依リ之ガ技能ヲ修得シ其ノ技倆優秀ナル者ニ付亦前項ノ規定ヲ準用ス
普通科電測術(哨戒)練習生	普通科電測術(哨戒)練習生	普通科電測術(哨戒)練習生	普通科電測術(哨戒)練習生
普通科飛行機整備術又ハ普通科兵器整備術練習生	普通科飛行機整備術又ハ普通科兵器整備術練習生	普通科飛行機整備術又ハ普通科兵器整備術練習生	普通科飛行機整備術又ハ普通科兵器整備術練習生
普通科機關術(掌主機械、掌補助機械又ハ掌鑪)練習生	普通科機關術(掌主機械、掌補助機械又ハ掌鑪)練習生	普通科機關術(掌主機械、掌補助機械又ハ掌鑪)練習生	普通科機關術(掌主機械、掌補助機械又ハ掌鑪)練習生
普通科内火術(内火)練習生	普通科内火術(内火)練習生	普通科内火術(内火)練習生	普通科内火術(内火)練習生
普通科内火術(自動運轉)練習生	普通科内火術(自動運轉)練習生	普通科内火術(自動運轉)練習生	普通科内火術(自動運轉)練習生
普通科電機術(掌發電機、掌電動機又ハ掌蓄電池)練習生	普通科電機術(掌發電機、掌電動機又ハ掌蓄電池)練習生	普通科電機術(掌發電機、掌電動機又ハ掌蓄電池)練習生	普通科電機術(掌發電機、掌電動機又ハ掌蓄電池)練習生
普通科工作術練習生	普通科工作術練習生	普通科工作術練習生	普通科工作術練習生
普通科看護術練習生	普通科看護術練習生	普通科看護術練習生	普通科看護術練習生
普通科經理術練習生	普通科經理術練習生	普通科經理術練習生	普通科經理術練習生
普通科衣糧術練習生	普通科衣糧術練習生	普通科衣糧術練習生	普通科衣糧術練習生

第四條 所轄長ハ部下ノ下士官及兵中前條第三項及第四項ノ規定ニ該當スル者ヲ調査シ其ノ都度普通科各種練習生トシテ選抜報告(普通科砲術練習生選抜表ニ準ジ適宜ノ欄ニ經歷ヲ詳記スルヲ要ス)スベシ

鎮守府司令長官ハ前項ノ報告ニ基キ練習生採用候補者ヲ銓衡シ毎偶數月ノ五日迄ニ其ノ練習生(専修班)別員數ヲ海軍大臣ニ報告スルト共ニ練習生採用豫定者ハ之ヲ成ルベク轉出容易ナル各部ニ配員スベシ

前項ニ該當スル者ノ練習生採用ニ關シテハ其ノ都度之ヲ定ム

第五條 各種練習生ノ採用學力試験ハ之ヲ行ハズ

第六條 配員上特ニ必要アル場合ニ於テハ各種練習生ハ所轄長ノ選抜ニ依ルコトナク直接之ヲ指名採用シ又ハ採用員數ヲ定メ之ヲ通達スルコトヲ得

所轄長採用員數ノ通達ヲ受ケタルトキハ速ニ採用者ヲ決定シ報告スベシ

第七條 所轄長ハ前條ノ規定ニ依リ通達セラレタル採用員數ヲ充足シ得ザルトキ又ハ指名採用セラレタル者ニシテ身體若ハ考課等ニ付不適ト認ムルモノアルトキハ速ニ之ヲ在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ通報スベシ

第八條 各種練習生ノ被選抜者及被採用者ニ對スル所見表ノ調製ハ之ヲ要セズ

所見表ヲ以テ選抜報告スベキ練習生ハ普通科砲術練習生選抜表ノ様式ニ準ジ選抜表ヲ調製シ報告スベシ

秘海軍公報 第四八二二號 昭和十九年九月二十九日

第九條 普通科各種練習生選抜表ハ第四條第一項ノ規定ニ依リ選抜スル場合ヲ除クノ外練習生ノ種別ニ拘ラズ左ノ區分ニ依リ調製スベシ

練習生種別	選抜表調製區分
普通科砲術練習生	水兵科普通科各種練習生
普通科測的術練習生	
普通科水雷術練習生	整備科普通科各種練習生
普通科機雷術練習生	
普通科運用術操舵練習生	機關科(機關兵出身)普通科各種練習生 普通科內火術(自動車)(機關兵以外出身)練習生
普通科運用術應急練習生	
普通科兵器整備術練習生	主計科(主計兵出身)普通科各種練習生 普通科經理術(主計兵以外出身)練習生
普通科飛行機整備術練習生	
普通科機關術練習生	主計科(主計兵出身)普通科各種練習生 普通科經理術(主計兵以外出身)練習生
普通科內火術練習生	
普通科電機術練習生	主計科(主計兵出身)普通科各種練習生 普通科經理術(主計兵以外出身)練習生
普通科經理術練習生	
普通科衣糧術練習生	主計科(主計兵出身)普通科各種練習生 普通科經理術(主計兵以外出身)練習生
普通科衣糧術練習生	

第十條 教育廳長ハ各種練習生被採用者ニシテ所定期日迄ニ入校(除クハ應本條中以下同ジ)セザルモノアルトキ又ハ入校遅延等ノ事故ニ依リ當該期練習生員數ニ不足アルトキハ速ニ

之ヲ在籍領守府司令長官ニ報告スベシ

前項ノ場合ニ於テ既ニ入校中ノ次期以後ノ練習生被採用者中ヨリ之ニ充テ得ル者アルトキハ其ノ旨附記スベシ

第十一條 在籍領守府司令長官前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ適宜練習生被採用者ノ期別若ハ採用員數ヲ變更シ又ハ補缺採用ヲ爲スコトヲ得

第十二條 練習生ニシテ修業中ノ成績優秀ナルモノハ當該練習生ノ修業期間ニ關スル規定ニ拘ラズ教育廳長ノ定ムル所ニ依リ適宜繰上ガ卒業セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ教育廳長ハ卒業期日ノ十五日前迄ニ所屬長官及在籍領守府司令長官ニ之ヲ報告スベシ

第二章 技術檢定ニ依ル特技章ノ付與

第十三條 下士官及兵ニシテ配員上ノ必要ニ基キ練習生ニ採用困難ナルモノ又ハ特別ノ技能ヲ有スルモノハ本章ノ規定ニ依リ銓衡ノ上普通科特技章ヲ有スル者ニ在リテハ當該特修別ニ從ヒ高等科特技章ヲ、特技章ヲ有セザル者ニ在リテハ兵種別ニ拘ラズ普通科特技章ヲ付與シ其ノ服役期間之ヲ特修兵ト爲スコトヲ得但シ掌信號兵(見張專修ノ者ヲ除ク)、掌電信兵及掌飛行兵ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ特技章ヲ付與セラレタル者ノ履歴表、考課表等ノ當該欄ニハ「(檢)」ト附記シ配員上考慮スルモノトス

第十四條 銓衡試驗科目左ノ如シ  
術科(志願者ノ技能及經歷ニ應ジ志望スル術科ヲ選擇セシム) 讀書

算術

第十五條 銓衡試驗成績ハ各科目ノ得點百分ノ六十以上ヲ合格トス

第十六條 銓衡試驗問題、同探點標準及試驗實施要領ノ作製區分左ノ如シ

術科別	問題作製擔任區分
砲術(水上、水上對空)測的術	橫須賀海軍砲術學校長
砲術(陸戰、陸上對空)測的術	館山海軍砲術學校長
水雷	海軍水雷學校長
機雷術、水測	海軍對潛學校長
運用術、信號術(見張)、氣象術	海軍航海學校長
暗號	橫須賀海軍通信學校長 (防府海軍通信學校長ト協議ス)
電測	海軍電測學校長
兵器整備	第十三聯合航空隊司令官
飛行機整備	第十八聯合航空隊司令官
機關術、內火術、電機術	海軍工機學校長
潜水航	海軍潜水學校長
工作	橫須賀海軍工作學校長 (沼津海軍工作學校長ト協議ス)
看護術	戶塚海軍病院長 (賀茂海軍病院長ト協議ス)
經理術、衣糧術	海軍經理學校長



第十七條 銓衡試験ハ毎年六月一日及十二月一日之ヲ實施スルヲ例トス但シ作戰行動上必要アルトキハ問題漏洩ノ虞ナキ限リ適宜ノ日ニ之ヲ實施スルコトヲ得

第十八條 銓衡試験ハ所屬長官ノ定ムル所ニ依リ指定期日ニ聯合實施スルヲ建前トス但シ作戰行動等ノ事山ニ依リ聯合實施シ難キモノニ在リテハ單獨施行ノ上所屬長官ニ其ノ旨報告スルモノトス

第十九條 所轄長ハ銓衡試験ニ合格シタル者ノ中左ノ諸號ニ適合スル者ヲ選抜シ別紙様式ニ依リ特修兵候補者選抜表ヲ調製シ在籍領守府司令長官ニ報告スベシ

一 品行方正ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者

二 身體検査(當該練習生ノ身體検査ニ準ズ但シ素質優秀ナル者ニシテ普通陸上勤務ニ適スルモノハ合格ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ選抜表身體欄ニ其ノ旨附記スルモノトス)ニ合格シタル者

三 當該志望術科ニ關聯スル配置ニ一年以上連續勤務シ實務ノ成績優秀ニシテ當該特修兵ト同等以上ノ技術ヲ有スト認ムル者

第二十條 所屬長官ハ配員上ノ必要ニ基キ下士官及兵ニ對シ特別ノ講習等ヲ實施シタル場合特修兵ト同等以上ノ技能ヲ有スト認ムル者アルトキハ所轄長ヲシテ前條ノ規定ニ準ジ特修兵候補者選抜表ヲ調製セシメ之ニ教育ノ内容其ノ他必要事項ヲ

添へ在籍領守府司令長官ニ移牒スベシ

第二十一條 領守府司令長官ハ前二條ノ報告ニ基キ高等科又ハ普通科特修兵タラシムルニ適當ト認ムル者ヲ銓衡シ海軍大臣ノ認許ヲ受ケ高等科又ハ普通科特修兵ヲ付與スベシ

第二十二條 本章ノ規定ニ依リ特修兵ヲ付與セラレタル者ハ當該特修別ニ從ヒ特修科又ハ高等科練習生ニ之ヲ採用スルコトヲ得

第二十三條 本章ノ規定ニ依リ特修兵ヲ付與シタル者ニ對シテハ特修成績績位ヲ附セザルモノトス

第二十四條 本令ニ規定スル以外ノ事項ニ關シテハ各當該規定ニ依ル

附則

本令ハ昭和十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十七年官房機密第一五六一號(大東亞戰爭中各種練習生及各種講習員ノ選抜及採用等ニ關スル特例)ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年官房機密第一三一號(大東亞戰爭中特修兵ニ非ザル下士官及兵ヲ普通科特修兵ト爲スコトヲ得ルノ件)ハ之ヲ廢止ス

同令第五號第二項ノ規定ニ依リ普通科特修兵ヲ付與セラレタル者ハ之ヲ本令第十三條ノ規定ニ依リ普通科特修兵ヲ付與セラレタル者ト看做ス

(別紙添)

秘海軍公報 第四八一二號 昭和十九年九月二十九日

官房入第九九二號

昭和十七年官房第七〇八八號中左ノ通改正ス

昭和十九年九月二十八日

海軍大臣

「勅令第八百十號」ノ下ニ「及兵役法施行令第三百三十八條」ヲ加フ

第一號中

掌電信兵	掌氣象兵	水兵
掌暗號兵		

掌帆兵	掌電信兵	掌氣象兵	水兵
掌暗號兵	掌電測兵		

掌内火兵 機關兵

掌機兵	掌内火兵	掌電機兵	掌工兵	掌看護兵
機關兵	工作兵	衛生兵		

第二號中

掌工兵 機關兵

第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ハ現役兵ハ志願兵及特別志願兵ヲ除ク入團(隊)ノ際又ハ第一補充兵召集セ

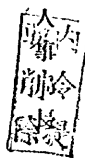
○通牒

ラレ初メテ入團(隊)シタル際本人ノ身體、學術、技能等ヲ參酌シ其ノ兵種ヲ變更スルヲ適當ト認ムル者アルトキハ各兵種別告達員數ノ範圍内ニ於テ相互ニ兵種ヲ變更スルコトヲ得

海人三機密第二號ノ七一

昭和十九年九月二十八日

海軍省



關係各廳長殿

普通科各種練習生ノ選抜及採用等ニ關スル件  
自然消滅ノ件通知

今般官房入機密第一七八九號ヲ以テ大東亞戰爭中特修兵養成ニ關スル特例制定ニ伴ヒ昭和十八年海人機密第一號ノ四八六申進ノ首題ノ件ハ自然消滅ノ義ト了知相成度

(參照) 内令提要卷二、二四頁

○雜 款

○事務開始

驅逐艦機裝具事務所ヲ八月十五日舞鶴海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○本日海軍公報發行セズ

(官房人機密第一七八五號別表)

(昭和十九年九月二十九日祕海軍公報)

期 別	採用 豫定 期 日	科 別	特 修 別	銓 衡 試 驗 施 行 期 日	志願書所見表 及銓衡試驗成 績表在籍官守 到府司令長官 達期限	候 補 者 員 數 報 海軍大臣ニ報 告期限	選 拔 範 圍
第 三 期	昭和二十年 三月十五日	海軍下 士官候 補者規 則第一 條ニ依 ル各科 但シ飛 行科ヲ 除ク	海軍特修兵令第 一條ノ規定ニ依 ル各術科但シ狀 況ニ依リ適宜限 定ス尙電信術、 潜航術、特攻術 及工作術ハ採用 豫定期日迄ニ特 修兵ト爲ルベキ モノトス	昭和十九年 十一月一日	昭和二十年 一月十日	昭和二十年 一月三十一日	海軍下士官任用特例第 二條及海軍下士官候補 者規則第二條ノ規定ニ 該當スル者但シ銓衡試 驗施行ノ日ニ於テ二 兵タルモノニシテ同期 日以後三月半以内ニ一 等兵トナルベキ者ヲ含 ム
第 四 期	昭和二十年 八月十五日			昭和二十年 四月一日	昭和二十年 六月十日	昭和二十年 六月三十日	

備考

一 作戦行動其ノ他ノ事由ニ依リ指定ノ期日ニ銓衡試験ヲ施行シ難キトキハ問題漏洩ノ虞ナキ場合ニ限り機宜期日ヲ變更シ之ヲ施行スルコトヲ得

二 特修兵(採用期日迄ニ特修兵ト爲ルベキ者ヲ含ム)ニシテ下士官候補者ヲ志願スル者ハ各當該特修(専修)別ヲ第一志望ト爲ス如ク指導スルモノトス

前項ノ志望特修(専修)別ヲ變更スル必要アルモノニ付テハ所見表志望特修別ノ欄ニ其ノ理由ヲ簡明ニ附記スルモノトス

(官房人機密第一七八九號別紙)

普通(高等)科「何」術「何班」特修兵候補者選拔表(銓衡試験)

(昭和十九年九月二十九日秘海軍公報)

年 月 日

所轄長職官氏名

	選 拔 順 序
	身 體 (軍醫科) (捺印)
	試 驗 成 績
	術 算 平 均
	書 讀 均
	科 術
	課 考
	練 習 生 又 ハ 新 兵 卒 業 日 月 及 績 成
	入 團 前 ノ 學 歷
	現 任 配 置 及 經 歴
	現 任 役 滿 期 年 月 日
	現 任 官 職 進 級 年 月 日
	特 技 章
	官 職 階
	氏 名
	年 齡
	入 籍 番 號

註 各術科(專修班)毎ニ高等科ト普通科トニ分テ調製スルモノトス

# 海軍公報

第四八一三號

昭和十九年九月三十日(土)

海軍大臣官房

### ○令 達

内令第一一一一號  
潜水隊編制中左ノ通改定セラレ

昭和十九年九月二十五日

海軍大臣

第三十三潜水隊ノ項中「呂號第六十七」ノ下ニ「呂號第百九、呂號第百十二」ヲ加フ

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令第一一二號

輸送隊編制左ノ通定メラル

昭和十九年九月二十五日

海軍大臣

第二輸送隊

第七號、第八號、第百六號、第百七號、第百八號、第百十號、第百五十四號

内令第一一三號

海防艦 久

第五十二號海防艦

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

秘海軍公報 第四八一三號 昭和十九年九月三十日

佐世保鎮守府在籍

海防艦 久 米

第五十二號海防艦

右警備海防艦ト定メラル

第三百三十九號輸送艦

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

昭和十九年九月二十五日

海軍大臣

内令第一一四號

吳鎮守府警備海防艦

海防艦 八十島

右役務ヲ解カル

昭和十九年九月二十五日

海軍大臣

内令第一一五號

吳鎮守府在籍

海防艦

右帝國海防艦籍ヨリ除カル

昭和十九年九月二十五日

海軍大臣

内令提  
八  
東  
盛  
載

内令第一一六號

軍 艦 八十島

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

昭和十九年九月二十五日

海 軍 大 臣

登載

官房備第七三號ノ一二

官房備第七三號ノ四ニ依ル第三十三海軍軍用郵便所ハ九月十八日ヨリ事務ヲ開始ス

昭和十九年九月十八日

海 軍 大 臣

海 軍 大 臣

(参照) 昭和十九年七月十四日秘海軍公報九六九頁

官房備第七三號ノ一三

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス

昭和十九年九月二十八日

海 軍 大 臣

登載

表中第十七海軍軍用郵便所ノ項職員ノ欄「所員」專任 六人 判任 十一人 所員 專任 十一人 判任 十人 所員 專任 十人 判任 十人 第四十三海軍軍用郵便所ノ項設置所ノ欄「第三十一警備隊」ヲ「第三十一特別根據地隊」ニ改ム

(参照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ナリ(内令提要卷一、六四ノ九頁)

官房人機密第一七九一號

本年九月二十五日現在海防艦八十島ノ職員タル者ハ特ニ發令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ巡洋艦八十島ノ各相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ

昭和十九年九月二十八日

海 軍 大 臣

官房人機密第一七九二號

本年十月一日現在第一海軍技手養成所兼務職員タル者ハ別ニ辭令ヲ用ヒズシテ同職員ヲ免セラレタルモノトス

昭和十九年九月二十八日

海 軍 大 臣

官房經第九二六號

昭和十九年官房經第五三五號中左ノ通改正ス

昭和十九年九月二十八日

海 軍 大 臣

「學徒勤勞動員實施要綱ニ基キ」ヲ「學徒勤勞令ニ依リ」ニ改ム 第一號ニ左ノ一項ヲ加フ 前項ノ手當ハ當該隊長ニ之ヲ交付スルモノトス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ隊長ヲ經テ本人ニ之ヲ交付スルコトヲ得 (一) 卒業後ノ就職ト關聯シ分散配屬セラレタル場合 (二) 通勤不可能ノ都道府縣外ニ配屬セラレタル場合

第二號第一項ノ末尾ニ「但シ宿舍ノ使用料ハ之ヲ徴收セザルモノトス」ヲ加フ

二ノ二 隊員公務ニ依リ旅行ヲ命ゼラレタルトキハ鐵道賃(三等)、船賃(下級額)、車馬賃ノ實費及其ノ身分ニ應ジ海軍内國旅費規則第五表ノ日當、宿泊料又ハ食卓料ノ定額以内ニ於テ實費ヲ標準トシテ廳長ノ定ムル定額ニ依リ日當、宿泊料又ハ食卓料ヲ支給スルコトヲ得

第三號ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ旅費ノ支給ヲ受クベキ家族ハ二人以内トス

第五號中「隊員勤務」ヲ「隊員作業上死亡シ又ハ傷病ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ガ爲該負傷若ハ該罹病ノ日ヨリ一年以内ニ死亡シタルトキハ五〇〇圓、勤務」ニ改ム

第七號中「第一號第二項、同號第三項」ヲ「第一號第二項」ニ改メ同號ニ左ノ一項ヲ加フ

隊員協力ノ爲就業廳ニ出頭又ハ歸郷若ハ歸校スル場合ハ前項ノ規定ニ依ル旅費ノ外荷物運賃ノ實費ヲ支給スルコトヲ得

八 派遣責任教職員(以下單ニ教職員ト稱ス)ニシテ常時隊員ノ指導監督ニ當ルモノニハ手當月額五十圓以内ヲ支給スルコトヲ得

九 前號ニ該當スル教職員ニシテ隊員ト起臥ヲ共ニスルモノニハ手當月額三十圓以内ヲ増給スルコトヲ得

十 教職員(部内限制待遇者ニ限ル)就業廳ニ於ケル服業定時間數ヲ超エ作業ニ協力スルトキハ廳長ノ定ムル所ニ依リ昭

和十九年官房經第四七七號別表(註、勤勉手當日額表)ノ額ニ相當スル額ノ範圍内ニ於テ勤勉手當ヲ支給スルコトヲ得

十一 教職員ニハ海軍戰時特例給與規則第二十四條ノ規定ヲ準用シ戰時食料ヲ支給スルコトヲ得

十二 教職員就業廳ニ往復スルトキ又ハ教職員ニ非ラザル學校ノ職員ニシテ隊員ノ勤務指導監督ノ目的ヲ以テ就業廳ニ出張スルトキハ廳長必要ト認メタル場合ニ限り海軍内國旅費規則ニ依リ同則第四表ノ定額以内ニ於テ旅費ヲ支給スルコトヲ得

十三 教職員ニハ廳長ニ於テ必要ト認メタル場合ニ限り作業衣袴一組ヲ貸與スルコトヲ得

十四 教職員ニハ第二號及第二號ノ二(鐵道賃及船賃ノ計算ハ本人ノ旅費等級ニ依ル)ノ規定ヲ準用ス

別表ヲ別表ノ如ク改ム

附則

本令ハ昭和十九年八月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

昭和十九年官房經第五三四號第二號中「軌道賃ヲ含ム以下之ニ同ジ」ノ下ニ「(三等)」ヲ加フ

(別表添)

(參照) 昭和十九年官房經第五三五號ハ學徒勤勞動員實施要綱ニ基キ海軍各職ニ協力スル學徒ノ給與ニ關スル件ナリ

昭和十九年六月六日海軍公報(部内限)

官房軍機密第一二五〇號

昭和十九年九月二十九日

秘海軍公報 第四八一三號 昭和十九年九月三十日

一 驅隊機密第一八號隊内各艦單艦處理ノ件認許ス  
但シ司令ト同所ニ在ル驅逐艦ハ此ノ限ニ在ラズ

(参照)

一 驅隊機密第一八號

昭和十九年九月十四日

第一驅逐隊司令代理

海軍少佐 海老原 太郎

海軍 大臣 殿

隊内各艦ノ庶務單艦處理ノ件上申

當隊各艦ハ任務行動上分離行動ヲ原則トシ庶務上ノ連絡ハ極テ  
遅延致ス實情ニ鑑ミ而モ今回當隊各艦ニ主計科士官配員セラレ  
タルヲ以テ此ノ際隊内各艦ノ庶務ニ付單艦處理ヲ實施致度候條  
御認許ヲ得度候

官房需機密第三六四號

本年官房需機密第二七二號中左ノ通改正ス

昭和十九年九月二十九日

海軍 大臣 殿

「長崎、那霸軍需支庫」ヲ「長崎軍需支庫」ニ、「佐伯軍需支  
部」ヲ「佐伯、那霸、基隆軍需支部」ニ改メ「女川、」ヲ削リ  
末尾ニ左ノ如ク加フ

女川軍需支庫

臨時所要ノ燃料(潤滑油)及日常所要ノ艦營需品

(参照) 本年官房需機密第二七二號ハ軍需支部及軍需支庫ニ於ケル  
艦營需品燃料等供給範圍ノ件ナリ(昭和十九年八月一日認  
許) 海軍公報第四七五八號

○ 通 牒

軍需機密第五九〇號

昭和十九年九月二十九日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

主計長主管艦營需品窓掛丙廢止ニ關スル件申進  
近時纖維製品ハ被服需用ノ激増ト共ニ極度ニ逼迫シ現狀ヲ以テ  
推移スルコト不可能ノ狀況ニ鑑ミ艦船部隊ノ多少ノ不便ハ了解  
シ得ル所ナルモ資源ノ窮狀前途ノ如クナルヲ以テ此ノ際當分ノ  
間窓掛丙ヲ廢止シ從來是ニ充當セル資材ハ防空暗幕ニ轉用セラ  
ルル豫定ニ有之候條所管又ハ所屬海軍軍需部ニ還納セシムル様  
取計相成度

追テ之ガ艦營需品定額表ノ品名ハ不日削除可相成候

經艦機密第三號ノ三四

昭和十九年九月二十日

支出官海軍省經理局長

關係各廳長殿

艦隊經費分任出納官吏ノ任免ニ關スル件通知



首題ノ件ニ關シテハ從來各廳ノ照會ニ基キ其ノ都度之方任免ヲ爲シ來リタル處艦船部隊等ノ經費等ノ取扱特例中廳長ニ於テ任免スルモノニ付テハ速ニ報告ノコトトシ特ニ當局ニ於テハ更メテ之方任免ハ爲サザル方針ニ付可然取計相成度  
追テ本任免報告ハ交代ノ場合ヲモ含ムモノニ付爲念

經機密第三號ノ六八

昭和十九年九月二十九日

- 軍省經理局長
- 海軍艦政本部長
- 海軍航空本部長
- 海軍電波本部長

關係各支出官  
關係各廳長 殿

同一工作廳ニ於ケル艦政本部系工事航空本部系工事及電波本部系工事ニ對スル豫算整理ニ關スル件通牒

從來同一工作廳ニ於テ艦政本部主務工事、艦政本部造修主務工事、航空本部主務工事及電波本部主務工事ニ對スル豫算ハ夫々區分整理スルコトト相成居候處自今當分ノ間左記ニ依リ處理スルコトニ一定致候

記

一 艦政本部系工作廳ニ在リテハ艦政本部造修主務工事、航空本部主務工事及電波本部主務工事ニ要スル豫算ハ總テ艦政本部主務豫算ヲ以テ支辨ス

二 航空本部系工作廳ニ在リテハ艦政本部主務工事、艦政本部造修主務工事及電波本部主務工事ニ要スル豫算ハ總テ航空本部主務豫算ヲ以テ支辨ス

三 第一號及第二號ニ依ル工事費ハ戰時海軍工作廳工事費規則特例(以下特例ト稱ス)ニ定ムル部局別整理ヲ爲シ特例第一號書式ノ受託工事調書ニ之ヲ計上スルモノトス

四 前諸號ニ依ル規定ハ艦政本部及航空本部ニ於ケル支出ニ之ヲ準用ス

五 艦政本部、航空本部及電波本部ハ見積額ニ依リ適宜ノ時期ニ於テ豫算ノ移用ヲ行ヒ第三號ニ依ル受託工事調書ニ依リ之ヲ決濟ヲ爲スモノトス

艦機密兵航第五八七號

昭和十九年九月二十七日

海軍艦政本部長

各軍需部長 殿

觀測鏡及七倍稜鏡双眼鏡保管轉換ノ件通牒

首題ノ件左記ノ通保管轉換スベシ

記

- 一 在庫、供用、貸與中ノ航海長主管觀測鏡 (三型、五型) 砲術長主管ニ保管轉換
- 一 在庫、供用、貸與中ノ砲術長主管六倍及七倍稜鏡双眼鏡ヲ航海長主管ニ保管轉換

○表 彰

善 行 表 彰

本籍地 愛知縣碧海郡安城町大字箕輪乙百五十八番戶

海軍少尉 島 居 雪 男

本籍地 愛知縣豐橋市葦町四十四番地

海軍少尉 渡 邊 文 郎

所 屬 第二高雄海軍航空隊

右者昭和十九年八月二十九日第三十八期飛行術練習生(射撃專修)ノ機上整備飛行教務實施ノ爲九六式陸上攻撃機(ロケット)ニ搭乗脚巻揚操作作業教授中右脚收納ノ儘作動不能ニ陥リタルヲ以テ故障箇所ヲ探究セル所右發動機房後方脚巻揚操作連動桿接續部止銜切損セルヲ發見セリ

依ツテ止銜修理ヲ行ハントセルモ適當ナル修補材料ナク剩ヘ翼内陝隘ニシテ且探光不充分ナルタメ作業意ノ如クナラズ一時ハ修補作業ヲ斷念シ脚收納ノ儘着陸セントセシモ降着時ノ災害ト聖戰下機材不足ノ折柄搭乗員養成ニ來ス支障ノ大ナルヲ慮リ復舊セズンバ已マズトノ旺盛ナル責任觀念ヨリ敢然作業繼續ヲ決意シ僅ナル要具ヲ以テ偶々携行セル鐵釘ヲ利用シ二時間餘ニ互リ極メテ困難ナル翼内作業ヲ敢行遂ニ脚下シ方ニ成功シ無事着陸スルコトヲ得タリ

抑右ハ飛行前ノ點檢整備ニハ萬全ヲ期シタリシモ長時間使用(飛行時間累計一、三六二時間)機材衰朽セル爲惹起セシ故障ニシテ眞ニ已ムヲ得ザルモノナリ

惟フニ右ノ處置ハ忠誠心ニ發スル本務ノ自覺ニ基ク旺盛ナル責任觀念ト不斷ニ研鑽鍊磨セル優秀ナル技術ノ發揮トニ依ルモノニシテ軍人精神ノ發露ニ外ナラズ衆人ノ模範トスルニ足ル仍テ茲ニ其ノ善行ヲ表彰ス

昭和十九年九月八日

第二高雄海軍航空隊司令 宮川 大 規

○雜 談

○事務開始

當部出張所ヲ左ノ通設置シ事務ヲ開始セリ

但シ當分ノ燃料、糧食ノ保管業務ヲ取扱フモノトス

千歳出張所 八月十日 北海道千歳郡千歳町

美幌出張所 八月十日 北海道網走郡美幌町

武藏出張所 九月十五日 北千歳廳延島武藏

厚岸出張所 八月一日 北海道厚岸郡厚岸町眞龍

松輪出張所 八月十二日 北千歳廳松輪島松輪

(大湊海軍軍需部)

呂號第五十六潜水艦艇裝具事務所ヲ九月十八日岡山縣玉野市三井造船株式會社玉野造船所内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○轉勤者赴任先

本隊轉勤者ハ自今千葉縣香取航空基地ニ向ケ赴任センメラレ度

(攻撃第七〇二飛行隊)

○本日海軍公報發行セズ

(官房經第九二六號別表)

(昭和十九年九月三十日祕海軍公報)

考 備	性 別		手 當 一 人 月 額
	男 子	女 子	
<p>一 海軍依託學生生徒令ニ依ル依託學生生徒ニ付テハ本表月額ニ拘ラズ依託學生ニ在リテハ月額三十圓、依託生徒ニ在リテハ月額二十五圓トス</p> <p>前項ノ規定ニ該當スル者ニ對シ第四號、本表備考第二號乃至第四號ノ規定ヲ適用スル場合ハ海軍給與令第四十四條ニ定ムル手當ヲ加ヘタル額ヲ月額トス</p> <p>二 就業廳ニ於ケル服業定時間數ヲ超エ作業ニ從事スルトキハ廳長ノ定ムル所ニ依リ時間外服業一時間ニ付手當月額(次號ノ増額ヲ含ム)ノ三十分ノ一ヲ以テ定メタル日額ノ十分ノ一以內ヲ増額スルコトヲ得</p> <p>三 夜業ヲ本務トスル者ニハ廳長ノ定ムル所ニ依リ本表手當ノ十分ノ五以內ヲ増額スルコトヲ得</p> <p>四 隊員協力終了ノ際ハ左ノ區分ニ依リ退去手當ヲ支給ス</p> <p>勤勞期間 一年以上ノ者 手當月額ノ三分ノ一</p> <p>同 六月以上一年未滿ノ者 同 六分ノ一</p> <p>同 六月未滿ノ者 支給セズ</p> <p>五 月額手當ノ始期ハ勤勞ニ從事ノ爲就業廳ニ向ケ出發ノ日トシ終期ハ就業廳退去ノ日トス</p>	<p>大學</p> <p>專門學校、高等學校、高等師範學校、大學豫科、師範學校(本科)、青年師範學校</p> <p>師範學校(豫科)、中等學校(又ハ之ニ準ズルモノ以下之ニ同ジ)但シ一、二年ヲ除ク</p> <p>中等學校一、二年、國民學校高等科</p>	<p>專門學校、師範學校(本科、豫科)、青年師範學校</p> <p>中等學校但シ一、二年ヲ除ク</p> <p>中等學校一、二年、國民學校高等科</p>	<p>七〇圓</p> <p>六〇</p> <p>五〇</p> <p>三〇</p> <p>五〇</p> <p>四〇</p> <p>二八</p>